

Subject：北海道の浜中町農協

日経新聞11月27日の朝刊一面コラム「春秋」に目が止まりました。ハーゲンダッツのアイスクリームへほぼ一手に原料生乳を提供する北海道の浜中農協の記事です。小生の勉強不足ではありますが、初めて名前を見る農協さんでした。長年の努力の賜で現在では国内よりも海外で評価される生産組合になってるそうです。しかも組合長のあだ名は「道東の暴走老人」(笑)

ホームページを見てさらに驚きました。

<http://www.ja-hamanaka.or.jp/modules/top0/>

太陽光発電で作るエコ牛乳、牛乳のトレーサビリティ確立、自前の研究・酪農技術センターの設立、民間と共同出資による大規模牧場法人の設立、町を挙げての新規就農支援。ハーゲンダッツだけでなく、カルピスにも原料供給をしているそうです。

世の中には凄い人達が沢山います。

2013.11.27

春秋

「ハーゲンダッツ」という名前は北風の響きだが、実は米国の会社である。お値段は普通のアイスクリームよりかなり高いけれど、おいしいから人気がある。仕事で何か良いことがあった日など、勤め帰りに「自分へのご褒美」と称して求める人も多いのではないか。

▼その味の秘密は原料の牛乳にある。群馬の工場にほぼ一手に供給しているのが、北海道の浜中町農業協同組合だ。組合長の石橋栄紀さんは「道東の暴走老人」を自称する地元の名物男。農協の全国組織や乳業メーカーの言うなりにならず、自分たちの手で牛の品種や飼料を徹底的に改良して最高品質の牛乳をつくり上げた。

▼餅は餅屋といふべきか。「ハマナカ」の名は日本国内より乳業大国ニュージーランドでよく知られている。来日したグロースー貿易相は、東京での政官界の要人との面会もそこに道東に飛び、石橋さんと膝を詰めて「戦略会議」を開いた。乳製品の対日輸出だけでなく、日本の農家との共同事業を考えているのだろう。

▼所得が伸び食生活が豊かになると、仕上げにデザートが食べたくなる。中国や東南アジアで高級アイスの需要が伸びれば、浜中町の商機が海外に広がるのは間違いない。「安い輸入品と競うのでなく、よいものを高く売る」。組合員わずか220人。TPPをめぐる「聖域論」をよそに、世界を視野にひた走る農協もある。